

# 令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践報告

## 佐世保市立祇園中学校



所在地 佐世保市祇園町14番12号  
 校長 郷原 正浩  
 生徒数 1年生138名 2年生143名  
 3年生124名 合計405名  
 学級数 15学級



### 1 目的

- (1) 祇園ブランド「美しい祇園中学校」の構築を目指して、豊かな心の育成や学力向上を図るために本校独自の特色ある教育活動を推進する。
- (2) 学力向上の手立てとして、授業の受け方や教科のポイント、家庭学習の取組方などをつづった「デイズ（学習の手引き）」を作成し、基礎学力の定着に努める。
- (3) 地域の方々を講師に招き、職業講話や伝統文化体験学習、思春期教室などに取り組み、キャリア教育やふるさと教育、健やかな心身の成長に向けて活動を推進する。

### 2 実践内容

【校訓】 理性 創造 尚志 自彊

【目指す生徒像】

G 義務を果たす生徒                      I 意気盛んな生徒  
 O 思いやりのある生徒                  N 忍耐強くやりぬく生徒

具現化を図るために！



**祇園ブランド「美しい祇園中学校」の構築を目指す！**

**生徒会年間スローガン：「挑(いどむ) ～更なる高みを目指して～」**

本年度は、上記のスローガンをもとに特色ある教育活動を実施した。心の教育を根底にすえ、学力向上や心身の健康づくりなど、学校・学年のカラーを生かして、日々生徒の健やかな成長を図るために取り組んだ。

#### (1) 豊かな心の育成に向けて

##### ① あいさつ運動の励行

生徒会を中心に「朝のあいさつ運動」を積極的に取り組んでいる。あいさつを交わし合うことで、気持ち良い一日の始まりを迎えさせるとともに、日中においても「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」等を自然に言えるように礼儀の取組を推進している。また、あいさつ運動を活

 あいさつの 花束みんなに とどけよう 三年四組 ○○ ○○	 挨拶と 笑顔が飛び交う 祇園坂 三年三組 ○○ ○○	 空の下 朝から飛び交う 挨拶たち 三年二組 ○○ ○○	 あいさつで つながるかけ橋 広がる笑顔 三年一組 ○○ ○○	 あいさつで みんなに笑顔の プレゼント 二年四組 ○○ ○○	 あいさつは 今日が始まる あいことば 二年四組 ○○ ○○
---	--	---	--	--	---



## (2) 学力向上に向けて（学習の習慣化と読書活動の活性化）

### ① 学習の習慣化、基礎・基本の定着を目指して

学習の手引きとして「授業の受け方」「教科のポイント」「家庭学習のすすめ」「自主学習の取組」などの項目を設けるとともに、中学校生活を円滑にするために「生活の心得」や「部活動の方針」なども取り入れ、まとめたものを冊子として配布している。

中1ギャップの解消や学び方に悩んでいる生徒の参考書として、また、オリエンテーションや学年集会のハンドブックとして活用するように勧めている。

**Days of Gion junior highschool**  
～ 学力アップのための 学習のポイントと毎日の生活心得 ～

佐世保市立紙園中学校  
〒857-0801 佐世保市紙園町 14 番 12 号  
Tel (0956) 24-8686 Fax (0956) 24-8659  
HP: http://www.csb.scb.ed.jp/~gionjun/

**授業の受け方 Lesson**

- 1 1分前に着席する
- 2 服装を正し、準備をする（授業の途中で取りに行かない）
- 3 ノートを発達しながらチャイムを待つ
- 4 先読後礼
- 5 本時のねらいを審議する
- 6 言語活動で活発な意見交換を!
- 7 宿題を確実にメモする
- 8 振り返り活動

授業では、必ず「ねらい」を提示します!

**授業の準備は、授業開始前に出して、机上整理を促します。**

誰もがリーダーになる機会がある紙園校

**ノートの記入の仕方**

- 1 日付を書く
- 2 筆名は大きく、読ませやすく!
- 3 ねらいを審議して書く
- 4 縦書きは青色など、色ペンの使い方で、自分なりのルールを決めて書く
- 5 教員以外でも、大切な言葉は積極的にメモを取る
- 6 文字に大きさを付け、メリハリを!
- 7 ノートはたっぷり使う
- 8 清潔しやすくようにノートを書く

**家庭学習のすすめ方**

★家庭学習を始める前に「3固定」を心がけよう!

その1 学習する場所を固定する。 どこで? ( ) 9分 9分

その2 学習する時間や曜日等を固定する。 平日 ( ) 9分 9分

その3 準備・確認する時間等を固定する。 起床 ( ) 起床 ( )

**めざせ!宿題1時間!**

時間になったら・・・

- 1 確認する
  - ほかの生徒の準備を確認、ノートを取り出す。
  - 机の上を整理する。
- 2 準備をする
  - 配布ノートの開き、中身の確認を確認する。
  - 宿題は、その日の授業内容を基に準備のし方!
- 3 読み手記をする
  - 配布ページを熟読し、理解しています。
- 4 配布ノートを記入する
  - 自分の知識や経験、学習をする。
  - 自分の考えや、意見を添える。
- 5 配布ノートに貼付する
  - 配布ノートに、自分の知識や経験を添える。
  - 自分の知識や経験を添える。
  - 配布ノート等を貼付し、読み手記を添える。

**保護者様へ**

時間になったら、TVや音楽の音を消し、静かな環境をつくってあげてください。

中学生では宿題は「目的・ねらい・ねらい」の理解が最も重要です。目的・ねらいでも、特に重要な項目ですので、確認必ず取り戻し確認が大切です。

宿題、配布ノートを基に、学習活動の準備を促すようにしてください。学年の学習活動時間に応じて、大いに活用してあげてください。

生徒ノートの文章を熟読の行まで確認するが、後の配布ノートへつなげていきます。「目的・ねらい」の書き手記を添えて、宿題のヒントを添えてあげてください。

### ② 言語活用能力の向上を目指して

図書室を学びの場として、また、読書好きを増やすために「図書ボランティア」を保護者から募集し、学校司書や図書担当職員との連携により、図書室運営の活性化を図っている。特に、図書ボランティアの方々による季節ごとの区掲示や装飾により、図書室の雰囲気や和らぎ、生徒の来室も増加している。



## (3) SDGs教育の充実に向けて

### ① 体験学習の充実に向けて

#### ア 職業講話

キャリア教育の一環として「職場体験学習」を例年実施してきたが、コロナ禍のためその代替として「職業講話」を実施した。職業講話の講師には、生徒の関心を高めるために職種を幅広く選び、また、コースも2つ選択できるように設定した。

- A) 公務員コース（市役所職員）
- B) 保育士コース（託児所職員）
- C) 子供食堂コース（親子いこいの広場代表）
- D) 消防署コース（消防署員）
- E) 金融コース（ファイナンシャルプランナー）



#### イ 伝統文化体験学習

日本の古き良き伝統文化を学ぶ機会として、地域で活動している方々を講師として招き「伝統文化体験学習」を実施した。茶道・箏曲・書道・弓道・華道・俳句の6コースを設定し、生徒に選択させた。伝統文化の優雅さや奥深さを再発見できるとともに、成就感を味わわせ

るために生徒作品を校内に展示した。



## ② SDG s の取組について

持続可能な社会の実現を目指してSDG s 学習を実施した。具体的な取組の大切さに気づかせるために、「社会参画意識の向上」「持続可能な社会の担い手育成」「多文化共生意識の習得」を3つの柱とし、「SDG s の達成を目指して社会に参画できる生徒」の育成を目指すことを目的として取り組んだ。



## 3 成 果

祇園ブランド「美しい祇園中学校」を学校経営方針の中心に掲げ、心の教育と学力の向上を推進するために、特色ある学校づくりに取り組んだ。

心の教育においては、生徒会を中心とした毎日の「あいさつ運動」が定着し、校内外においても快いあいさつができるようになってきた。地域の方々からお褒めの言葉をいただくことが多くなった。併せて、「あいさつ標語」や「心に残る美しい一言」の幟旗を祇園坂に掲げることにより、生徒の意識の高まりも感じられるようになった。また、講演会・教室（メディア、職業講話、食育、人権、図書ボランティア等）の各種の取組では、思春期の生徒にとって課題となるものを提示することにより、日常の生活を振り返らせ、より良い生活を送る意識や心構えを育むことができた。

上記のような取組を充実させることにより、全体的に落ち着いた学校の雰囲気や心構えが培われ、生徒一人一人の日常生活に対する意識や授業に臨む姿勢が改善されてきたものと思われる。そのことが保護者や地域の方々にも伝わり、学校の応援団としての姿がうかがえるようになった。

## 4 今後の課題

今年度も、学校教育目標の具現化を図るために、新しい教育活動を企画したり、地域の方々を講師に招いたりし、特色ある学校づくりに取り組んできた。しかし、生徒間のトラブルとなりやすいメディア活用に関わる問題やコミュニケーション能力の育成など、課題はまだ山積している。現在、教職員・保護者・地域の関係がより良いものとなってきているので、さらに連携を深め、課題を克服しつつ、よりレベルの高い学校づくりに注力していきたい。